

## II いじめに関する研究者一覧

### 北海道教育大学

福井 雅英（専門分野:臨床教育学）

【研究内容】 生徒指導, 教師の専門性, 生徒自殺の事例研究

【著書・論文】

①『『子ども理解』とはどういうことか—大津市の中学生自殺事件にも触れて』『教育』(2012) 論文

②『なくなる「いじめ」を考える』(2008) 共著

札幌市生徒自殺に関する調査検討委員会に委員長として参加し, 報告書をまとめた。

その内容について, 札幌市園長・校長研修で講師を務めた。そのほか, 札幌市生徒指導担当者研修, 札幌市スクールカウンセラー研修で講師を務めた。また, 学校現場の校内研修講師を数校でおこなっている。

戸田 まり（専門分野:発達心理学）

【研究内容】 子どもの社会性の発達

【著書・論文】

①あいまいな攻撃に対する解釈と対処行動の発達: 社会的情報処理の視点から, 発達心理学研究 23(2), 214-223.(2012) (渡辺恭子共著)

②近年の社会的スキル教育についての展望, 北海道教育大学紀要(教育科学編) 62(1), 159-169(2011) (小原卓也・小綱りか・紺野響平共著)

③学童の虐待の現状と小学校の役割, 松本伊智朗(研究代表)「子ども虐待問題と被虐待児童の自立過程における複合的困難の構造と社会的支援のあり方に関する実証的研究」(2010)(分担執筆)  
平成20・21年度厚生労働科学研究報告書(政策科学総合研究事業) p.108-115.

平野 直己（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 いじめに関わる教育相談, カウンセリング

【著書・論文】

①いじめの理解と対応, その予防, 月刊生徒指導 38(2), 74-81(2008)

②いじめる子どもの心理療法, 北海道教育大学教育実践総合センター紀要(4), 309-317, (2003)

③「いじめ史」の分析: 大学生におけるいじめの接触経験と認識, 教育実践研究指導センター紀要 18, 23-32, (1999), (藤原圭子共著)

松田 賢治（専門分野:教育学[学校経営・生徒指導]）

【研究内容】 バランスト・スコア・カードの学校経営への導入, 児童生徒理解のためのアセスの分析法, SEL(ソーシャル&エモーショナル ラーニング)の効果的な活用, ピア・サポートの効果的な活用

【著書・論文】

①月刊学校教育相談「使ってみよう!アセス」P84-89(2012)

村田 育也（専門分野:情報教育, 教育工学）

【研究内容】 情報モラル教育の内容と方法

【著書・論文】

①『インターネット社会を生きるための情報倫理 2012』実教出版(共著)(2012)

②『子どもと情報メディア —子どもの健やかな成長のための情報メディア論—』現代図書(単著)(2010)

③『インターネットの光と影Ver.4 —被害者・加害者にならないための情報倫理入門—』北大路書房(共著)(2010)

玉井 康之（専門分野:教育実践学）

【研究内容】 いじめに関して、以下のような対応方法について、具体的にどのようにしていかを研究している。  
・いじめ問題の背景として、人間関係の希薄化があること、いじめを解決するために人間関係づくりが不可欠であることを意識的に追求することが重要である。

【著書・論文】

①『コミュニティ教育論』（放送大学大学院指導テキスト）

第4章「学校と地域社会（2）～コミュニティスクールの源流～」

第5章「地域の子どもの遊び・生活と教育コミュニティ」

第6章「総合的な学習とまちづくり」

第9章「コミュニティと学校の説明責任」

第10章「学校と地域を結ぶ地域コーディネーターの役割」

第11章「開かれた学校と生涯学習施設」

第12章「中山間地の学校と地域コミュニティ」

放送大学教育振興会 66～79頁（2010）

②『学校評価時代の地域学校運営-パートナーシップを高める実践方策』教育開発研究所 全222頁（2008）

③『少年の凶悪犯罪・問題行動はなぜ起きるのか-事件から学ぶ学校・家庭・地域の役割とネットワークづくり』ぎょうせい、1～232頁（2002）（玉井正明共著）

小淵 隆司（専門分野:発達心理学・障害児心理学）

【研究内容】 ①発達障害を持つ児童・生徒の相互理解と学級づくり  
②特別な支援を要する児童・生徒の乳幼児期の支援ニーズの調査研究  
③地域における児童理解と援助に関するシステム研究

【著書・論文】

①子ども理解を手がかりに手をつなぎ共に育つ親たち 現代と教育 80号、（2010）

②高機能広汎性発達障害児の学校適応への支援（2006）論文

③育ちあう発達相談（単著）（2009）、自閉症スペクトラムの発達と理解（共著）（2004）、自閉症の理解と発達保障（分担執筆）著書（2012）

今泉 博（専門分野:教育内容・方法論）

【研究内容】 崩壊クラスの中でいじめを克服し授業が出られるようになるための実践論

【著書・論文】

①崩壊クラスの再建—新しい荒れをらく—に克服する法（1998）

②「荒れる」子どもたちに教えられたこと—学校を楽しさと安心の場に（1998）

③なぜ小学生が“荒れる”のか—学級解体の危機を超えて（1998）

木戸口 正宏（専門分野:生徒指導・進路指導）

【研究内容】 釧路・道東地域を主たるフィールドしながら、子どもたちを取り巻く社会現実、および地域が直面する課題と、そこから浮かび上がる教育実践上の課題（とりわけ生活指導・進路指導実践の課題）は何かということを考えています。その中で、とりわけ子どもたちが「学校から社会へ」と移行する道筋を支えるような友人関係・仲間関係とはどのようなものかそのような関係形成にかかわる困難はなにか（いじめ・不登校・中退などによる学校生活からの排除等）ということに関心を持っています。

【著書・論文】

①自他に対する「信頼」の回復を軸に据えた「学習支援」の取り組み—釧路市「高校進学希望者学習支援プログラム」の取り組みを手がかりに（北海道教育大学釧路校『釧路論集北海道教育大学釧路校研究紀要』第42号所収（2010年）

②つながりの「希薄さ」と「濃密さ」のあいだにたつ教師像を（全国高校生活指導研究協議会編『高校生活指導』（青木書店）No.172所収（2007）（上間陽子共著）

③第Ⅱ部 長野県・望月高校調査 Ⅱ-3 地域高校の「困難校」化と教職員集団の取り組み」（民主教育研究所編・発行『民主教育研究所年報2005（第6号）学校づくりと地域づくり』所収（2005）

弘前大学

大谷 良光（専門分野:技術教育, 生活指導, 教員養成）

【研究内容】 ネットいじめ, ネット・ケータイリスク教育, 学校でのいじめ対策

【著書・論文】

- ①「自治体と連携したネットパトロール隊によるネットいじめの監視・啓発活動」『月刊自治研』(2013・5入稿済)
- ②「インターネットにおける不快・恐怖体験(嫌な思い)に関する調査研究」『弘前大学教育学部紀要』第108号(2012)  
(浅田豊, 斉藤奈緒子共著)
- ③監修, 弘前大学ネットパトロール隊編著:『ネット・リスク教育指導力養成研修テキスト』(2012)

## 東北大学

有本 昌弘（専門分野:教育アセスメント）

【研究内容】 スクールベースインターベンションプログラムとしての「いじめ防止プログラム」とアセスメント・評価に関する海外レビュー(背景の見立てとしてのアセスメントと効果の把握と評価枠組みの国内への適応)

【著書・論文】

- ①スクールベースアプローチによるカリキュラム評価 学文社(2007)
- ②「学びを創り出すアセスメント—教員養成におけるコアカリキュラムへの導入の必要性—」『日本教科教育学会誌』25(2):69-78.(山本佐江・新川壮光共著)(2012)

## 秋田大学

佐藤 修司（専門分野:教育法学）

【研究内容】 子どもの人権, 子ども権利条約

【著書・論文】

- ①「人権尊重の学校づくり—『いじめ』の問題にかかわらせて—」秋田大学教育文化学部編『うちかて!「いじめ」に—その予防・発見・対処—』秋田魁新報社, pp.43-50(1998)

清水 貴裕（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 ストレスマネジメント, 催眠療法, ブリーフセラピー

【著書・論文】

- ①いじめによる不登校の中2女子を持つ父親への援助, 筑波大学臨床心理学論集(筑波大学心理相談室)第16集, pp.5-13(2001)
- ②いじめの加害者に影響する被害者と第三者の反応, 大阪教育大学紀要(大阪教育大学教育学部)第46巻, 第2号, pp.347-363(1998)
- ③第8章 学校不適応: 実践につながる教育心理学(櫻井茂雄・黒田祐二編著)(2012)

## 福島大学

松下 行則（専門分野:道徳教育, 生活指導）

【研究内容】 「価値の統合化」をめざす道徳授業方法の研究, 不登校支援に関する実践的検討, 学童保育の実践的検討

【著書・論文】

- ①あそび塾きんこん館の設立と経営問題, 福島大学生涯学習教育研究センター年報, 第11巻, 53-61(2006)
- ②同調=対立しあう共生—あそび塾きんこん館の試み(序章), 福島大学生涯学習教育研究センター年報, 第9巻, 37-44(2004)

鈴木 庸裕 (専門分野:学校福祉, 生活指導)

【研究内容】 学校福祉と地域づくり, スクールソーシャルワーカー養成

【著書・論文】

- ①日本型スクールソーシャルワーカーの発展と障害児教育, 障害者問題研究, 37-1, 74-77(2009)
- ②学校ソーシャルワーク専門職の養成をめぐる実習カリキュラムの一考察, 日本学校ソーシャルワーク学会『学校ソーシャルワーク研究』, 第3号, 23-40(2008)
- ③子どもの人権擁護を担う地域のコーディネーター, 日本生活指導学会『生活指導研究』, 第24号, 64-76(2007)

内山 登紀夫 (専門分野:児童精神医学, 認知臨床心理学)

【研究内容】 児童精神医学, 認知臨床心理学

【著書・論文】

- ①小児科病棟での対応, 小児科病棟での対応, 35, 600-606(2012)(田中恭子共著)
- ②広汎性発達障害の心理社会的支援をめぐるPharma Medica, 30(4), 33-36(2012)(吉田香織共著)
- ③広汎性発達障害とスペクトラム概念, 精神科治療学, 27巻4号(2012)

松崎 博文 (専門分野:特別支援教育, 障害児教育)

【研究内容】 発達障害児の早期支援・就学前移行支援

【著書・論文】

- ①東日本大震災にともなって生じた福島県内における特別支援教育のニーズ調査と子ども・教師・保護者支援, 福島大学研究年報, 別冊(平成23年度), 27-36(2012)(昼田源四郎・鶴巻正子・金谷昌治・塚野薫共著)
- ②「困り感」に寄り添うきめ細やかな支援(2), 福島大学総合教育センター紀要, 第8号, 47-54(2010)(本多環共著)
- ③ミドルテネシー州立大学早期支援センターの地域貢献・教育・研究活動～プロジェクトHELPに学ぶもの～, 福島大学地域創造, 第21巻第1号, 118-127(2009)(昼田源四郎・鶴巻正子共著)

## 茨城大学

丸山 広人 (専門分野:学校心理学)

【研究内容】 いじめへの介入方法, 支援方法を探る

【著書・論文】

- ①いじめ場面における第三者はどのように動くのか, (2013), (論文)
- ②「被害者に対する心のケアの実際」『いじめ・いじめられる青少年の心』北大路書房, (2004), (坂西友秀・岡本祐子編)著書
- ③「いじめに対する対処とその発達」『学校臨床研究』(東京大学大学院教育学研究科附属・学校臨床総合教育研究センター)第1巻 第1号, 16-30頁, (2000), 論文

## 筑波大学

藤生 英行 (専門分野:カウンセリング心理学・認知行動カウンセリング)

【研究内容】 カウンセリング訓練法, 外在化・内在化問題行動に共通するリスク要因・保護要因, 症状悪化に關与する認知的脆弱性

【著書・論文】

- ①高校生のネガティブライフイベントに対する脆弱性と自己分化度の關連についての実証的研究 カウンセリング研究 42/3, 237-246(2009)(工藤浩二共著)
- ②平成14, 15, 16, 17年度基盤研究(C)(2)(課題番号14591001) 行為障害傾向を持つ子どもへの介入プログラム開発のための基礎研究報告書 全101頁(2006)
- ③いじめ(bullying)に關する諸外国の文献的研究—教師の基本的知識としての知見のまとめ 上越教育大学心理教育相談研究, 1, 139-159(2001)

## 宇都宮大学

澤田 匡人 (教育心理学・感情心理学)

【研究内容】 制裁的いじめ加担における社会的感情の役割

【著書・論文】

- ① Dispositional vengeance and anger on schadenfreude, (2012)
- ② いじめを哀れむ児童・いじめに興じる生徒: シャーデンフロイデと同情から見たいじめ目撃者の類型化の試み(2011)
- ③ 子どもの妬み感情とその対処, (2006)

## 群馬大学

懸川 武史 (学校臨床心理)

【研究内容】 思いやりのある学校コミュニティの構築に関する統合的研究: いじめ防止のためのピア・サポート活動を中心にして

【著書・論文】

- ① 「ピア・サポート活動によるいじめ防止」いじめの解明, 第一法規, (印刷中), (今井・嶋崎・渡部編集)
- ② 「ピア・サポート活動によるいじめ予防」「入門いじめ対策」学事出版, (2012), (相馬・佐藤・懸川編著)

矢島 正 (学校運営)

【研究内容】 学校運営, 教育行政 等

【著書・論文】

- ① 視向別冊「群馬の文学・思想・教育」第6号, 78~164頁, 「視向」の会, (2012)  
「これからの学校教育を考える」(5), 「共生の教育」について(その一)

## 埼玉大学

堀田 香織 (専門分野: 臨床心理学)

【研究内容】 回想法による, いじめ被害・加害体験の心理学的調査研究  
いじめ被害者のカウンセリングを通じた臨床心理学的研究

【著書・論文】

- ① 「いじめを生む個人内のメカニズム」『いじめ・いじめられる青少年の心』, 北大路書房, 第2章 第2節, 48-57頁, (2004) (坂西友秀・岡本祐子編)
- ② 「相談的面接法の実習—回顧法によるいじめ体験の半構造化面接」『心理学マニュアル面接法』北大路書房, 第5章, 54-60頁(2000) (保坂亨・中澤潤・大野木裕明編)
- ③ 「回想法によるいじめ体験の様相—調査結果の量的検討から」『学校臨床研究』(東京大学大学院教育学研究科 附属・学校臨床総合教育研究センター) 第1巻 第1号, 7-15頁(2000)

## 千葉大学

藤川 大祐 (専門分野: 教育方法学)

【研究内容】 いじめや学級崩壊を生じさせない授業づくり・学級経営

【著書・論文】

- ① 『いじめで子どもが壊れる前に』(角川oneテーマ21), (2012)

## 東京学芸大学

松尾 直博 (専門分野: 教育心理学・臨床心理学)

【研究内容】 児童生徒の心理的問題の理解と対応

【著書・論文】

- ① いじめ防止に何ができるか—教育心理学・カウンセリング心理学の観点(2008)
- ② 学校における暴力・いじめ防止プログラムの動向: 学校・学級単位での取り組み(2002)

杉森 伸吉（専門分野:集団心理学・社会心理学）

【研究内容】 個人-集団関係の文化社会心理学

朝日新聞 いじめSOS知ろうー東京学芸大 教員らとリスト作成（2012年12月28日日刊30面掲載）  
日本テレビ みのもんたの朝ズバッ「いじめ予防に関するコメント」2012年9月14日  
日本テレビ みのもんたの朝ズバッ「いじめ自殺に関するコメント」2012年7月12日

【著書・論文】

- ①不適応児の理解:いじめ・不登校と発達障害 教育心理学概論 放送大学教材 財団法人放送大学教育振興会（2009）太田信夫（編）
- ②文化社会心理学の観点からいじめを読み解く 日本健康相談活動学会誌 3(1), 15-20, (2008)

大河原 美以（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 子どもの感情の育ちと親子関係

いじめ被害者・加害者への心理治療

【著書・論文】

- ①子どもたちの感情を育てる教師のかかわりー見えない「いじめ」とある教室の物語ー明治図書, (2007)

斎藤 一久（専門分野:憲法学・教育法学）

【研究内容】 いじめ及びいじめ自殺に関する判例研究

【著書・論文】

- ①斎藤一久編『重要教育判例集』, 東京学芸大学出版会, (2012)

朝倉 隆司（専門分野:健康社会学・精神保健学）

【研究内容】 学校と職場におけるいじめ行動とその役割パターンや行動の要因, その防止策について, 調査研究を行った。

【著書・論文】

- ①Mikayo Ando, Takashi Asakura, Bruce Simons-Morton. Psychosocial uences on physical, verbal, and indirect bullying among Japanese early adolescents The Journal of Early Adolescence 25(3) 268-297, (2005)
- ②中学生におけるいじめに関わる役割行動と敵意的攻撃性, 共感性との関連性 学校保健研究, 46(1) 67-84, (2004)
- ③中学生における対人的な攻撃行動パターンに関する研究, 学校保健研究, 42(2)123-141, (2000)

大森 直樹（専門分野:教育実践）

【研究内容】 子どもの関わりを軸にした教育実践の記録と分析

【著書・論文】

- ①「子どもとつながることー上ちゃんの保健室日記」, 教育実践研究支援センター編, 東京学芸大学出版会(2012)
- ②「子どもたちとの七万三千日」東京学芸大学出版会 (2010)

小林 正幸（専門分野:教育臨床心理学）

【研究内容】 教育臨床心理学, 不登校, いじめなど集団不適応問題の未然防止と支援。Social skills training を用いた社会性育成のための教育プログラムの提案とプログラムの効果研究。

【著書・論文】

- ①「ソーシャルスキルの視点から見た学校カウンセリング」ナカニシヤ出版(京都市)(2011)
- ②「学校メンタルヘルスから見たいじめの実態」現代のエスプリ 525号 69-77 (2011)
- ③中学校学区を単位とした小中連携支援シートの活用による学校不適応予防の効果 学校メンタルヘルス13巻 1号 19-26(2010)

横浜国立大学

犬塚 文雄（専門分野:生徒指導）

【研究内容】 予防生徒指導の観点から、いじめ問題への対処法を考える

【著書・論文】

- ①子どもの社会的スキル横浜プログラム 三訂版(監修), 横浜市教育委員会編, (2012)
- ②ガイダンスカリキュラムの実践ー横浜プログラムとYPアセスメントの併用を中心にー, 指導と評価, 58巻, 24-27, (2012)
- ③「いじめ問題」再考ー予防生徒指導の観点からー, 学校教育研究, 23号, 208-213, (2008)

## 山梨大学

岡林 春雄（専門分野:教育心理学）

【研究内容】 若者のいじめ体験がどのように変化しているのか, 1995年から定点調査(高校を卒業した4月段階での調査)  
・いじめ等の若者の問題に対する実践を治療教育, 予防教育, 開発・発達教育の3本柱をもつ「心理教育」として提案  
・メディアを通して(朝日新聞, 山日新聞, NHK甲府)コメント

【著書・論文】

- ①「保育・教育現場の心理教育に向けて」発達科学研究, 4, 63-69, (2004)
- ②「若者の学校体験と自己認知:いじめ体験を中心として」山梨大学教育, 人間科学部紀要, 1, 284-293, (1999)
- ③「心理教育」金子書房, (1997)

谷口 明子（専門分野:教育心理学）

【研究内容】 中学生の「いじめ」経験と認識に関する調査研究

【著書・論文】

- ①「中学生のいじめ認識ーいじめ経験との関係から」(2010)

## 新潟大学

長澤 正樹（専門分野:特別支援教育）

【研究内容】 問題行動(いじめを含む)

【著書・論文】

- ①子どもの問題行動に対する学校の支援。教育と医学, 5月号, 20-27. (2012)

## 上越教育大学

梅野 正信（専門分野:学校教育）

【研究内容】 判決書を活用した教材・研修資料の研究

【著書・論文】

- ①「いじめと教師・子ども・保護者ー民事訴訟判決資料の活用と教育法学の役割ー」, 日本教育法学会, 『日本教育法学会年報』第37号, 有斐閣, pp.1-5(2008)
- ②『裁判判決で学ぶ日本の人権』, 明石書店, 全262p(2006)
- ③『実践いじめ授業』, エイデル研究所, 全143p 担当pp.2-17, pp.28-33, pp.47-53, pp.63-71, pp.88-93, pp.100-113, (2001)(采女博文 編著), (新福悦郎, 上猶覚, 山元研二, 新澤あけみ, 他2人共著)

赤坂 真二（専門分野:学級集団づくり, 生徒指導）

【研究内容】 子どもの適応感を高める学級集団づくり, 学級経営を基盤とした学力向上, 授業づくりと学級づくりの一体化

【著書・論文】

- ①『友達を「傷つけない言葉」の指導 あたたかい言葉がけの授業と学級づくり』, 学陽書房, 全147p(2008)
- ②『“荒れ”への「予防」と「治療」のコツ 学級づくりの基礎・基本』, 日本標準, 全159p(2008)
- ③『小学校高学年女子の指導 困ったときの処方箋』, 学陽書房, 全150p(2005)

## 富山大学

久保田 真功（専門分野:教育社会学）

【研究内容】 いじめに関する調査研究

【著書・論文】

- ①「いじめへの対処行動の有効性に関する分析—いじめ被害者による否定的ラベル『修正』の試み—」『教育社会学研究』, 第74集, pp.249-268(2004)
- ②「逸脱傾向にある子どもたちはなぜいじめを黙って見ているのか?—中学生を対象とした質問紙調査をもとに—」『生徒指導学研究』第9号, pp.57-66(2010)
- ③「国内におけるいじめ研究の動向と課題—いじめに関する3つの問いに着目して—」『子ども社会研究』第18号, pp.53-66(2012)

## 福井大学

廣澤 愛子（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 近年のいじめの特徴に関する研究

【著書・論文】

- ①「解離」に関する臨床心理学的考察—現代青年に見られる「いじめ体験における実感のなさ」について—日本心理臨床学会第29回大会発表論文集, 434.(2010)
- ②『昔話ケースカンファレンス—発達と臨床のアプローチ—』, ナカニシヤ出版, (2009), (大野木裕明・千野美和子・赤澤淳子・後藤智子・共著)
- ③「現代青年に見られる“いじめ体験における実感のなさ”について—“解離”という特性に注目して—」, 『現代の社会病理』, 査読有, vol.23, p.141-156.(2008)

森 透（専門分野:臨床教育学・教育実践史）

【研究内容】 1993年度から福井大学において, 福井弁護士会と共催で「子どもの悩み110番」活動を継続している。相談者の多くは母親であるが, 相談内容の最多は小・中・高校生の不登校である。いじめに関する相談もあり, いじめと不登校が関係するケースもある。

【著書・論文】

- ①「子どもたちの今を考える—『子どもの悩み110番』の教育相談活動を通して—」(福井大学教育地域科学部附属教育実践総合センター紀要『福井大学教育実践研究』第34号)(2010)(坂後恒久・佐藤辰弥・細田憲一共著)
- ② 1993年からの5年間の教育相談の活動報告をまとめたものとして, 福井大学教育地域科学部附属教育実践総合センター紀要『福井大学教育実践研究』第22号所収論文「子ども・親の心を受けとめて—『子どもの悩み110番』の活動報告」(森透・松木健一・坂後恒久・佐藤辰弥)(1997)。それを収録した冊子『子ども・親の心を受けとめて』(福井の教育と文化を考える会発行), (1999)

## 信州大学



土井 進（専門分野:教師教育学）

【研究内容】 教師が「いじめ」を早期発見する着眼点と「いじめ」を未然に防ぐ児童生徒の内面に迫る指導、援助の在り方について考察した。  
「いじめ研究会」において発言され、議論された「いじめ」を巡る様々な視点・立場からの声を紹介した。  
いじめ研究会での発表者名とテーマ、参加者数を掲載した。また、1997年秋に開催した「いじめフォーラム」の様子を報告した。

【著書・論文】

- ①「いじめ研究会の記録(3)」『信州大学教育学部附属教育実践研究指導センター紀要』No.6, pp.297-306(1998)  
(越智康詞他2名共著)
- ②「教師の「いじめ」早期発見と内面に迫る指導」,『信州大学教育学部附属教育実践研究指導センター紀要』No.5, pp.251-260(1997)(守時公枝・越智康詞共著)
- ③「いじめ研究会」の記録(1)(2)」,『信州大学教育学部附属教育実践研究指導センター紀要』No.5, pp.261-280(1997)(守時公枝他5名共著)

## 岐阜大学

橋本 治(専門分野:教育臨床)

【研究内容】 いじめ・不登校・暴力・発達障害・自殺

【著書・論文】

- ①地道に「いじめ」対策を見直す」<ケース別・いじめ対応のポイント>1.教師が直接発見した場合,2.児童・生徒からの訴えがあった場合,3.保護者からの訴えがあった場合,4.不幸にして自殺してしまった場合,教育開発研修所,(2012)(分担執筆)
- ②いじめ問題を見過ごさない10のポイント!! 明治図書,全124頁,(2007)
- ③いじめと自殺の予防教育,明治図書,全162頁,(1998)

## 愛知教育大学

小関 俊祐（専門分野:臨床心理学(認知行動療法)）

【研究内容】 認知行動療法に基づくいじめの予防と対応

【著書・論文】

- ①対人葛藤場面に対する関与形態のアセスメントに基づく問題解決訓練が高校生の攻撃行動とストレス反応に及ぼす影響,ストレスマネジメント研究,8巻,1号,31-38.(2011)
- ②中学生に対する問題解決訓練の攻撃行動変容効果,行動療法研究,36巻,69-81.(2010)
- ③学級アセスメントに基づく集団社会的スキル訓練の効果,行動療法研究,35巻,245-255.(2009)

藤井 啓之（専門分野:教育学）

【研究内容】 後期近代における個人化が人々の行動にどのように作用しているかを踏まえつつ、「いじめ—いじめられ」が個人化した子どもたちのサバイバル的行動から生じる様態を実践記録から読み取り、それらを乗り越えるあり方を追究する。

【著書・論文】

- ①「孤立的にサバイバルする子どもたちのなかのいじめ」(『生活指導』2013年2.3月号(近刊))

五十嵐 哲也（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 従来からのいじめおよび現代に特有ないじめの心理的背景の検討

【著書・論文】

- ①高校生・大学生のネットいじめ経験・携帯電話依存がひきこもり親和性に及ぼす影響:日本教育心理学会第54回総会,平成24年11月,日本教育心理学会第54回総会発表論文集,P179.(2012)(青山郁子共著)
- ②事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助:ナカニシヤ出版,(2010)(庄司一子監修,杉本希映・五十嵐哲也編著)

## 三重大学

岡田 珠江（専門分野:学校臨床心理学）

【研究内容】 児童・生徒への教育相談に関する臨床心理学的研究

【著書・論文】

- ①いじめをした生徒への指導における落とし穴 -いじめ加害者に対するカウンセリングの必要性- 中野明德編, モジュール型コア教材開発研究会教育臨床編チーム著, DVDで見る教育相談の実際, 東洋館出版社, P52-59 (2009)

荒川 哲郎（専門分野:特別支援教育）

【研究内容】 知的障がいのある人たちへの虐待の事件を取り上げ, 裁判の記録等の資料を分析し, なぜ虐待がおこるのだろうかとの要因を考察した。  
精神障がいのある人たちへの虐待の事件を取り上げ, 当事者の記録等の資料を分析し, 障がいのある人たちへのいじめ等の要因を考察した。

【著書・論文】

- ①障がいのある人への虐待はなぜ起こるのだろうか, 三重県反差別人権研究みえ, 研究紀要第六号, (2007)
- ②このまちでありのまま生きたい, 三重県反差別人権研究みえ, 研究紀要第五号, (2006)

## 滋賀大学

渡部 雅之（専門分野:発達心理学）

【研究内容】 いじめに対する関係者の意識の違い

【論文】

- ①いじめへの介入における傍観者と教師の意識と役割(2001)
- ②滋賀大学教育学部生のいじめ・いじめられ経験といじめに対する意識: 他大学教育学部との比較から(1999)

## 京都教育大学

本間 友巳（専門分野:教育心理学, 臨床心理学）

【研究内容】 いじめの教育臨床心理学的研究

【著書・論文】

- ①いじめへの立ち向かい方, 現代のエスプリ525, ぎょうせい, 116-124, (2011)
- ②いじめ臨床(第I部第1章いじめ臨床とは-その理解と意義-), ナカニシヤ出版, 3-18, (2008)
- ③中学生におけるいじめの停止に関連する要因といじめ加害者への対応, 教育心理学研究51巻4号, 390-400, (2003)

## 大阪教育大学

戸田 有一（専門分野:教育心理学, 発達心理学）

【研究内容】 いじめ等の攻撃性問題と対策プログラム実践支援と評価及び少数データ分析手法の案出

【著書・論文】

- ①Toda, Y. Bullying (Ijime) and its prevention in Japan: A relationships focus. In R.H. Shute, P.T. Slee, R.Murray-Harvey, & K.L. Dix (Eds.) "Mental Health and Wellbeing: Educational Perspectives" Adelaide, South Australia: Shannon Research Press. (2011)
- ②児童・青年の発達に関する研究動向といじめ研究の展望. 教育心理学年報, 49, 55-66, (2010)
- ③Nicolaidis, S., Toda, Y., & Smith, P. K. Knowledge and attitudes about school bullying in trainee teachers. British Journal of Educational Psychology, 72, 105-118. (2002)

水野 治久（専門分野:カウンセリング心理学・学校心理学）

【研究内容】 学校心理学。いじめや不登校を教員同士や諸機関との連携で援助するチーム援助について研究している。  
援助ニーズの高い子ども(いじめの被害・加害を含む)がどのように教師やカウンセラーに援助を求めるかについて研究している。

【著書・論文】

- ①『教師のチーム力を高めるカウンセリング(チャートでわかるカウンセリング・テクニックで高める「教師力」』, ぎょうせい, (2011), (諸富祥彦監修 水野治久・梅川康治編集)
- ②『学校での効果的な援助をめざしてー学校心理学の最前線-』, (2009), (石隈利紀監修, 水野治久編集)
- ③『カウンセリングとソーシャルサポート-つながり支えあう心理学-』, ナカニシヤ出版, (2007) (谷口弘一・福岡欣治・古宮昇編)

菱田 準子（専門分野:臨床教育学）

【研究内容】 ・いじめ問題に対するピア・サポートグループを活用した解決志向プログラム  
・教員養成大学における学生のいじめに関わる体験の意味づけと教員養成について

【著書・論文】

- ①『ピア・サポート実践ガイドブック-Q&Aによるピア・サポートプログラムのすべて』ほんの森出版, (2008) (中野武房・高野利雄・栗原慎二・春日井敏之・森川澄男共著)
- ②『すぐ始められるピア・サポート指導案&シート集』, ほんの森出版, (2002)

## 兵庫教育大学

浅川 潔司（専門分野:発達心理学・学校心理学）

【研究内容】 いじめ場面に遭遇した児童・青年が、その場面に援助的介入を行う際に、コストや対人関係傍観者の有無がどの程度関係するのか、といった問題について発達心理学的観点から検討された。

【著書・論文】

- ①The effect of cost, Intimacy, and autonomy on helping in adolescence, Paper presented at the 28th International Congress of Psychology in Beijing. Asakawa, K., Fukumoto, R., & Kogawa, M. (2004)

藤原 忠雄（専門分野:学校教育相談・学校心理学・スポーツ心理学）

【研究内容】 児童生徒がストレスと付き合い上手になるための支援であるストレスマネジメント教育, 教師のメンタルヘルス, 教育活動におけるリラクゼーションの活用, スポーツメンタルトレーニング, 学校教育相談に関する研究

【著書・論文】

- ①「学校教育相談の理論・実践事例集 いじめの解明(追録31~32号)」第一法規出版, (2003)
- ②「集団によるいじめとグループカウンセリング」『高校教育展望』(1995年10月号) 小学館, pp.56-59

富永 良喜（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 自然災害・虐待やDVなどの暴力・犯罪により傷ついた子どもたちへの心理的支援に関する研究, 予防教育としてのストレスマネジメント教育に関する研究, トラウマへの心理療法としての認知動作療法の研究を行っている。

【著書・論文】

- ①小中学生を対象としたいじめによる心身反応調査票(PTSB)の作成と適用ストレスマネジメント研究 7(1) 3-8 (日本ストレスマネジメント学会), (2010), (永浦拓・寺戸武志共著)
- ②トラウマティック・ストレスによるいじめ防止プログラム, ストレスマネジメント研究, 4, 1-5, (日本ストレスマネジメント学会), (2009), (富永典子共著)
- ③ストレスマネジメント教育による暴力防止プログラムの開発ストレスマネジメント研究 3(1) 29-34 (日本ストレスマネジメント学会), (2006), (宮下啓子共著)

有園 博子（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】子どもの心的外傷体験に関する研究

【著書・論文】

①小学校における子どもの問題 北樹出版, 『教師のたまごのための教育相談』, 36-47, (2010)

淀澤 勝治（専門分野:道徳教育学, 道徳授業の教材及び指導, 過程の実践開発）

【研究内容】現代社会における子ども達の生徒指導上の諸問題に対応できる道徳教育および道徳授業の在り方

【著書・論文】

①道徳の時間における人権教育の在り方に関する研究—道徳の時間にいじめや差別をどう扱うのか?—(2010)

②「小学校における『いじめ問題』への直接的対応と間接的対応」(2008)

## 神戸大学

高見 和至（専門分野:運動心理学）

【研究内容】中学校における運動部活動と、いじめの発生との関連性について、中学生の攻撃性を含めた調査研究を実施している。

【著書・論文】

①中学生における運動部活動といじめの態様, 日本体育学会第63回大会予稿集, p129.(2012)

(石黒由美子共著)

②中学生における運動部活動といじめの態様, 日本スポーツ心理学会第38回大会発表抄録集, pp70-71, (2011)

(石黒由美子共著)

## 奈良教育大学

池島 徳大（専門分野:学校教育臨床）

【研究内容】いじめに関する学校教育臨床研究

【著書・論文】

①クラス担任によるいじめ解決への教育的支援(単著, 全200頁)日本教育新聞社, (1997)

②ピア・メディエーションに関する基礎研究, (37-45), 奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要第19号, (2010)

③ピア・サポートによるトラブル・けんか解決法—指導用ビデオと指導案ですぐできるピア・メディエーションとクラスづくり—, (全78頁), ほんの森出版, (2011), (監修・著)

## 和歌山大学

松浦 善満（専門分野:教育学(教育社会学)）

【研究内容】いじめの国内外実態調査研究, いじめの克服プログラムの開発研究

【著書・論文】

①『いじめにとりくんだ世界の国々』(ミネルヴァ書房), (2006), (P.Kスミス・滝・他)

②『国際いじめ調査をよむ』(小学館「小5教育技術」), (2000)

③『「いじめ」集団の構造に関する社会学的研究』(1985), (森田洋司他)

米澤 好史（専門分野:教育心理学・臨床発達心理学）

【研究内容】 いじめという攻撃行動の分析と支援, いじめの背景としての愛着障害・発達障害, いじめの背景としての家庭環境・子育て

【著書・論文】

- ①こどもの学習意欲・人間関係に与える受容の効果－調査研究と発達障害への支援事例から導かれる「愛情の器」モデル－, 和歌山大学教育学部紀要(教育科学), 62, 1-8. (2012)
- ②学校教育における発達支援の事例検討－発達障害と問題行動への対応－和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター紀要, 21, 31-40. (2011)
- ③こどもの攻撃行動の心理学的分析と関係性支援, 和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター紀要, 17, 49-58. (2007)

## 岡山大学

安藤 美華代（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 ・ いじめの心理社会的要因に関する実証的研究  
・ いじめ・うつなどの心理・行動上の問題を予防し心の健康を育む心理教育の開発と実践的研究

【著書・論文】

- ①児童生徒のいじめ・うつを予防する心理教育“サクセスフル・セルフ”. 岡山大学出版会, (2012)
- ②中学生における「ネット上のいじめ」に関連する心理社会的要因の検討. 学校保健研究, 51(2), 77-89, (2009)
- ③中学生における問題行動の要因と心理教育的介入. 風間書房, (2007)

## 広島大学

東川 安雄（専門分野:スポーツ社会学）

【研究内容】 運動部活動といじめの関係について考える

【著書・論文】

- ①部活が「いじめ」の温床となるとき. 体育科教育, 55-4:28-31. (2007)

## 鳴門教育大学

阪根 健二（専門分野:学校教育学）

【研究内容】 教師のいじめ対応方略について

【著書・論文】

- ①図説生徒指導提要－「いじめ問題への対応」, 月刊生徒指導5月号, 学事出版, 担当pp.52-55(2012)
- ②全国各自治体でのいじめ増減傾向の推認といじめ研修の地域差・内容・定着度－教育委員会担当者への質問紙調査より, 生徒指導学研究, 日本生徒指導学会, 第10号, pp.47-56(2011)
- ③教師のいじめに関する知見と対応との乖離について－中学校段階におけるいじめ対応の実践と課題, 生徒指導学研究, 日本生徒指導学会, 第7号, pp.43-49, (2009)

小倉 正義（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 特にインターネットを介したいじめに関する研究

【著書・論文】

- ①ネットいじめを考える, 子どもの学校の臨床, 8, 印刷中, (2013), (金子一史共著)
- ② Ijime in Japan, International Journal of Adolescent Medicine and Health, 24, 69-76.Ogura, M., Okada, K., Hamada, S. et al.(2012)

葛上 秀文（専門分野:教育社会学）

【研究内容】 学力問題, いじめ問題

【著書・論文】

- ①いじめの実態と構造に関する一考察, 鳴門生徒指導研究 13, 26-36, (2003)
- ②いじめの実態に関する実証的研究, 鳴門教育大学研究紀要. 教育科学編 16, 35-43, (2001)

佐古 秀一, 葛上 秀文, 芝山 明義（専門分野:教育経営学, 教育社会学）

【研究内容】 いじめを含む学級崩壊事例に対して, それぞれの教員と学校組織がどのように対処したかについての事例研究

【著書・論文】

- ①「学級崩壊」に対する小学校の組織的対応に関する事例研究(1)－学校組織における個業性維持の実態とその要因に関する考察－鳴門教育大学研究紀要, 第20巻, 37-49, (2005)

山崎 勝之（専門分野:発達健康心理学）

【研究内容】いじめ問題を含めた学校での適応と健康の予防に関する基礎ならびに応用実践研究

【著書・論文】

- ①世界の学校予防教育, 金子書房, (2013), (山崎勝之他共編著)
- ②学校における予防教育科学の展開, 鳴門教育大学研究紀要, 25, 14-30, (2010), (山崎勝之他共著)
- ③The relationship between three types of aggression and peer relations in elementary school children. International Journal of Psychology, 44, 179-186, Yamasaki, K., & Nishida, N. (2009)

佐々木 恵（専門分野:行動医学）

【研究内容】いじめの予防や攻撃性と健康に関する心理学的な基礎研究および実践研究

【著書・論文】

- ①学校において自己信頼心(自信)を育成するユニバーサル予防教育－教育プログラムの実際－鳴門教育大学研究紀要, 28, 印刷中, (2013), (佐々木恵他共著)
- ②学校において自己信頼心(自信)を育成するユニバーサル予防教育－教育目標の構成とそのエビデンス－鳴門教育大学研究紀要, 27, 141-153, (2012), (佐々木恵他共著)
- ③攻撃性とコーピング 島井哲志・山崎勝之(編) 攻撃性の行動科学(健康編) ナカニシヤ出版, pp. 200-212, (2002)

内田 香奈子（専門分野:学校心理学）

【研究内容】 怒り感情のコントロールを用いたいじめ予防と心理学的な基礎ならびに応用研究

【著書・論文】

- ①学校予防教育プログラム“感情の理解と対処の育成”－小学校3年生における授業内容について－鳴門教育大学研究紀要, 28, 印刷中, (2013), (内田香奈子他共著)
- ②学校予防教育プログラム“感情の理解と対処の育成”鳴門教育大学研究紀要, 27, 154-168, (2012), (内田香奈子他共著)
- ③大学生でのサポート受容を目的とした感情教育と健康教育 大淵憲一(編) 現代のエスプリ「感情教育」, 至文堂, pp.47-54, (2008)

香川大学

加野 芳正（専門分野:教育社会学）

【研究内容】・プロローグ／いじめ自殺の衝撃，ネットいじめ／〈いじめ〉の形，なぜ，いじめは発生するのか／学級集団といじめ，いじめ問題と向き合う／エピローグ  
・いじめとは何か，どうして起こるのか，タイトルの通りで，養護教諭を対象とした雑誌のなかでわかりやすく解説。  
・いじめ統計について，いじめ研究の動向について，学級集団といじめ

【著書・論文】

- ①「「いじめ」とは何か，なぜ起こるのか」，『健康教室』2013年1月号，p10-12，（2013），（論文）
- ②『なぜ，人は平気で「いじめ」をするのか？』，日本図書センター，p292，（2011），（著書）
- ③『新説 教育社会学』，第6章，「いじめの社会学」，玉川大学出版部，（2007），（加野芳正他編）

毛利 猛（専門分野:臨床教育学）

【研究内容】 いじめ問題への物語論的アプローチ

【著書・論文】

- ①「いじめの語られ方—いじめ問題への物語論的アプローチ」，『臨床教育学への視座』，ナカニシヤ出版，第6章，（2006）

## 愛媛大学

太田 佳光（専門分野:教育社会学）

【研究内容】 教育社会学の視点から，いじめ問題の言説を朝日新聞他の社説から分析した。また，いじめ対策の実態を小・中学校へのアンケート調査から明らかにした。

【著書・論文】

- ①教育問題の社会学的考察（3） - いじめ問題以降の言説分析を中心にして，（2000）
- ②「いじめ」問題の社会学的考察-学校を単位とした「いじめ」対策の調査を中心に-，（1999）

相模 健人（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 いじめ問題についてスクールカウンセリング，ソリューション・フォーカスト・ブリーフセラピーの立場から研究している。

【著書・論文】

- ①被虐待経験，いじめを受けた経験が青年期後期の自己肯定意識に及ぼす影響に関する研究，（2006）
- ②スクールカウンセリングにおいて解決志向アプローチを用いた2事例，（2000），（1事例でいじめを扱っている）

## 高知大学

古口 高志（専門分野:臨床心理学・行動医学）

【研究内容】・心身症と心理社会的ストレス・ストレス対処との関連  
・ストレスに関する心理面・行動面・生理面からの多角的検討  
・認知行動療法によるストレス関連疾患の予防と緩和

【著書・論文】

- ①ピアサポートの適用と効果—高校生を対象とした大学生によるピアサポート活動の紹介を含めて—，高知大学教育実践研究，20:95-106，（2006），（※いじめケースへの適用など）
- ②不登校例に対する認知行動的介入プログラムの適用—心療内科入院治療を施行した中学生の1例—，静岡大学心理臨床研究，2:29-39，（2003），（※いじめを伴う不登校事例）
- ③心療内科入院治療を施行した不登校症例の病態特徴について—DSM（Ⅲ-R&Ⅳ）多軸評定に準じた形式での評定結果より—，心身医学 42:467-474，（2002），（※分類基準の1つとしていじめを考慮）

## 福岡教育大学

黒川 雅幸 (専門分野:教育社会心理学)

【研究内容】 いじめ・電子いじめなどの生起メカニズム

【著書・論文】

- ①学級雰囲気および学級規範が電子いじめ加害行動に及ぼす影響, 福岡教育大学紀要第4分冊(教職科編), 60, 45-52, (2011)
- ②いじめ被害とストレス反応, 仲間関係, 学校適応感との関連—電子いじめ被害も含めた検討—, カウンセリング研究, 43, 171-181, (2010)
- ③中学生の電子いじめ加害行動に関する研究, 福岡教育大学紀要第4分冊(教職科編), 59, 11-21, (2010)

中島 義実 (専門分野:臨床心理学)

【研究内容】 心理臨床学の観点から得られるいじめに関する理解や対応実践に関する知見

【著書・論文】

- ①不登校といじめ問題改善の方策, 福岡教育大学心理教育相談室監修, 子どもの学校適応を促進しよう—新しい校内研修のためのテキスト—, プレイン出版, pp43-66, (2007)
- ②いじめを監視強化によってなくそうというのか—我々に「原罪」はないのか—, 福岡教育大学心理教育相談研究, 11, (2007), (論文)
- ③問題行動への理解と対応, 図説, 子どものための適応援助—生徒指導・教育相談・進路指導の基礎—, 北大路書房, pp45-85, (2006), (小泉令三編著), (著書)

見上 昌睦 (専門分野:言語障害児教育学)

【研究内容】 いじめなどが原因で不登校になった吃音のある子どもへの支援のあり方に関する事例研究, 吃音のある子どもへのいじめやからかいなどを含む通常の学級教師及び吃音のある大学生へのいじめやからかいなどを含む高等教育機関による支援のあり方に関する調査研究

【著書・論文】

- ①高等教育機関における吃音のある学生に対する配慮・支援の要望. 聴覚言語障害, 36(3), 113-130, (2007) (横井保紀共著)
- ②吃音者の学校教育期における吃音の変動と通常の学級の教師に対する配慮・支援の要望. 聴覚言語障害, 34(3), 61-81, (2005), (森永和代共著)
- ③不登校を呈する重度吃音児に対する家庭訪問による支援. 聴覚言語障害, 33(3), 117-126, (2004), (小野美和子共著)

小泉 令三 (専門分野:学校心理学)

【研究内容】 子どもの社会的能力の育成による問題行動の予防と学校適応の促進

【著書・論文】

- ①子どもの人間関係能力を育てるSEL-8S, 社会性と情動の学習<SEL-8S>の導入と実践, ミネルヴァ書房, (著書) (2011)
- ②子どもの人間関係能力を育てるSEL-8S, 社会性と情動の学習<SEL-8S>の進め方, 小学校編, ミネルヴァ書房, (共著)(2011)
- ③子どもの人間関係能力を育てるSEL-8S, 社会性と情動の学習<SEL-8S>の進め方, 中学校編, ミネルヴァ書房, (共著)(2011)

## 佐賀大学

村山 詩帆 (専門分野:教育社会学)

【研究内容】 いじめをもたらす対人関係の歪みの発生メカニズムを, ゲームの理論を用いて実証的に検討した結果, 道徳教育だけではいじめを抑止する効力がなく, いじめの抑止力となるのは反撃のオプションを行使する自信があるタイプに限られていた。このことから, 子ども間の対立を黙殺するより, 教師が対立に適切に介入し, 子どもに反撃の手立てを授ける支援を行うことがいじめの抑止に有効であることが明らかとなった。

【著書・論文】

- ①「学級秩序の生成過程における相互行為—誠実・反撃・寛容—」, 『青少年育成研究』, 第6号, pp19-25, (2007)



松下 一世（専門分野:教育学, 人権教育）

【研究内容】 子どもの人権、いじめ、人権学習、学級づくり

【著書・論文】

- ①「いじめ解決策に向けての一考察—子ども集団の力関係の分析を通して—」九州教育学会研究紀要第36巻 33-41頁(2009)
- ②『アンチ「いじめ」大作戦！—かけがえのない命の輝きを』全184頁 明治図書(2007)
- ③『いじめをなくし、心をつなぐ—友達づくりのスキルを』全164頁 明治図書 (2001)

## 長崎大学

上蘭 恒太郎（専門分野:教育学(教育哲学), 教育学(道徳教育)）

【研究内容】 各文化圏におけるいじめ概念の差異について

【著書・論文】

- ①いじめに関するドイツ, マレーシア, 日本の意識比較研究—連想調査によるオスナブリュック, ペナン, 長崎の大学生の調査— 2003年3月

柳田 泰典（専門分野:教育学(社会教育学)）

【研究内容】 嗜虐的攻撃論の成果と限界を明確にする

【著書・論文】

- ①いじめと嗜虐的攻撃に関する研究—内藤朝雄『いじめの社会理論』を中心に— 2011年3月

小原 達朗（専門分野:スポーツ科学(運動生理学, トレーニング論), 身体教育学(子どもの体と心)）

【研究内容】 学生の攻撃性に関する研究

【著書・論文】

- ①大学生の攻撃性（共著） 2010年3月
- ②攻撃性に関する横断的研究—小学生から大学生まで—（共著） 2010年3月
- ③児童生徒の特性からみた生徒指導の質的改善 ～小学生の攻撃性について～（共著） 2008年3月

## 熊本大学

ハツ塚一郎（社会心理学）

【研究内容】 集団力学および言説分析からのいじめ研究

【著書・論文】

- ①社会的表象としての「いじめ」に関する新聞記事言説分析, 日本社会心理学会第51回大会発表論文集, 208-209, (2010)
- ②「いじめ」の語られ方とその変化に関する新聞記事分析研究.日本グループ・ダイナミクス学会第55回大会発表論文集, 36-37, (2008)

## 大分大学

武内 珠美（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 いじめ問題を含む, 現在の教育臨床的課題について, 教育相談や教育臨床の視点から, 研究と実践を行っている。

【著書・論文】

- ①「教育臨床の実際」, ナカニシヤ出版, (2011)  
「いじめ」の章だけではなく, 「学校の危機管理・危機対応」として, 事故・事件(いじめを含む)などの学校の危機の際の反応や, 対応についても, 概説を行った。

溝口 剛（専門分野:臨床心理学）

【研究内容】 児童期・思春期・青年期の情緒発達と心理的援助

【著書・論文】

①『教育臨床の実際』, ナカニシヤ出版, p.137-146, (2011), (いじめ:武内珠美・渡辺亘・佐藤晋治共著)

## 鹿児島大学

有倉 巳幸（専門分野:教育心理学, 社会心理学）

【研究内容】 仲間集団の排他性に関する研究

【著書・論文】

①中学生の仲間集団の排他性に関する研究, 鹿児島大学教育学部研究紀要, (2012), (単書)

②生徒の仲間集団の排他性に関する研究, 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要, (2011), (単書)

## 琉球大学

吉田 浩之（専門分野:生徒指導）

【研究内容】 ・学級におけるいじめ・不適應の把握尺度の作成  
・部活動におけるいじめ・不適應の把握尺度の作成

【著書・論文】

①部活動における生徒の援助ニーズを把握するための尺度の作成, 琉球大学教育実践総合センター紀要第20号, (2013)

②学級における生徒の援助ニーズを把握し対応する方法, 人間文化第30号, (2012)